

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 ○年 ○月 ○日	
堺市長 殿	
提出者	
住所 堺市堺区○○○町0-0-0	
氏名 (医) ○○会○○病院 理事長 大阪太郎	
<div style="border: 1px solid black; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 2px 5px; display: inline-block;">代表社印・社印不要</div>	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 072-○○○-○○○○	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(医) ○○会○○病院
事業場の所在地	堺市堺区○○○町0-0-0
計画期間	令和○年4月1日～令和○年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	83：病院
②事業の規模	○○○床
③従業員数	○○○人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

管理体制図には役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載してください。
書ききれない場合は、別紙を添付してください。
(ただし個人名は削除してください)

産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、右側のセルに続けて入力してください。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和 ▲ 年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	排出量	90 t	80 t
	(これまでに実施した取組) 滅菌処理を実施し、排出抑制に努めている。(感染性廃棄物)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	排出量	85 t	70 t
	(今後実施する予定の取組) 滅菌処理装置を購入し、引続き排出抑制に努める。(感染性廃棄物)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物及び強酸は、他の廃棄物と区分し分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引続き分別保管する。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 ▲ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 ▲ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） 実施していない。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 予定なし。			

(第3面-2)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

(第3面-3)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 ▲ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 ▲ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	全処理委託量	90 t	80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	90 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	80 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 産廃情報ネット等の情報を参考に委託基準を遵守できる産廃処理業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。			

(第4面-2)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	強酸
	全処理委託量	85 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	85 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
委託処理業者に対し、引続き定期的に処理状況の現地確認を行う。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和 ▲ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	170	t
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェストを導入し、対応可能な処理業者であるとともに優良認定処理業者から選定することとしている。		
※事務処理欄			

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
 - 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条第4項第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
 - 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
 - 9 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【 令 和 ▲ 年 度 】 実 績

編 号 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
堺市堺区○○○町0-0-0	(株)○○○○有限 堺事業 大塚工場	総務課庶務係	換花 花子	072-0000-0000	072-0000-0000	

特別管理産業廃棄物の種類	①排出量	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤ ④のうち ⑤-④のうち 熟回収を行った量 (t)	⑥ ④のうち ⑥-④のうち 熟回収を行った後の残量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理し、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	委託先による区分 (⑩ = ⑩-①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨ = ⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)				⑯+⑰ 自ら再生利用を行った量 (t)	⑱+⑲ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	
											⑪再生利用者への処理委託量 (t)	⑫回収認定業者への処理委託量 (t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の中間処理委託量 (t)			⑮埋立処分委託量
1 7300 感染性廃棄物	90									90					90	0	0
2 7100 強酸	80									80	80					0	0
3																0	0
4																0	0
5																0	0
6																0	0
7																0	0
8																0	0
9																0	0
10																0	0
11																0	0
12																0	0
13																0	0
14																0	0
15																0	0
16																0	0
17																0	0
18																0	0
19																0	0
20																0	0
合計	170	0	0	0	0	0	0	0	0	170	80	0	0	0	90	0	0

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

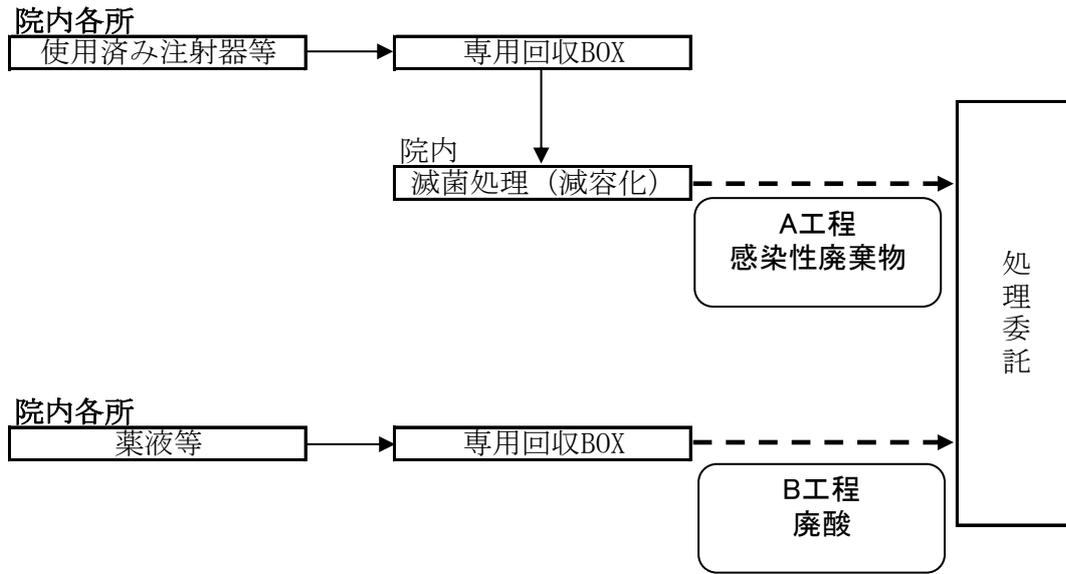
今年度【令和〇年度】目標

編 号 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当部署の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
堺市堺区〇〇〇町〇-〇-〇	(株)〇〇〇〇〇〇 堺事業 大塚工場	総務課庶務係	換花 花子	072-0000-0000	072-0000-0000	

特別管理産業廃棄物の種類	①排出量	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)	④自ら中間処理した量 (t)	計 画 の 実 施 状 況				⑦=①-②-③-④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨				⑩+⑪ 自ら再生利用を行った量 (t)	⑫+⑬ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)		
					⑤ ④のうち 熟回収を行った量 (t)	⑥ ④のうち 埋立処分後の残さ量 (t)	⑦ ④のうち 中間処理により減量した量 (t)	⑧ ④のうち 中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨ ④のうち 中間処理及び最終処分委託した量 (t)	⑩ ⑦のうち 再生利用者への処理委託量 (t)	⑪ ⑦のうち 認定業者への処理委託量 (t)	⑫ ⑦のうち 認定業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)			⑬ ⑦のうち、委託して破砕等の中間処理した量 (⑭～⑯を除く)	⑭ ⑧のうち、委託して破砕等の中間処理した量 (⑮～⑯を除く)
1 7300 感染性廃棄物	85								85					85	0	0
2 7100 雑酸	70								70	70					0	0
3															0	0
4															0	0
5															0	0
6															0	0
7															0	0
8															0	0
9															0	0
10															0	0
11															0	0
12															0	0
13															0	0
14															0	0
15															0	0
16															0	0
17															0	0
18															0	0
19															0	0
20															0	0
合計	155	0	0	0	0	0	0	0	0	155	70	0	0	0	85	0

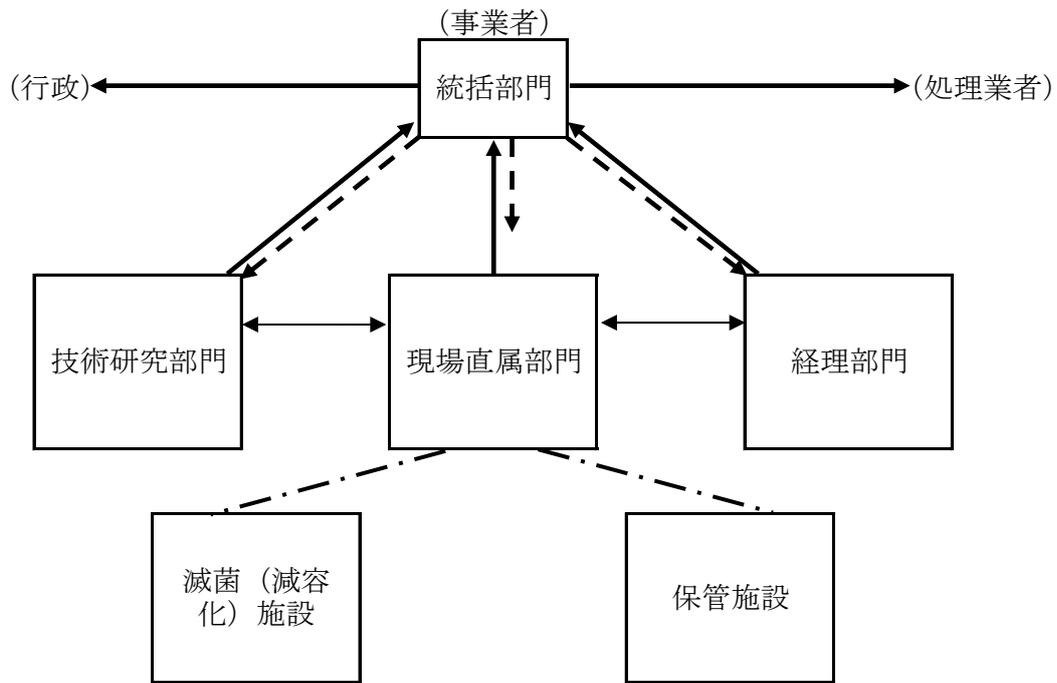
(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

[産業廃棄物発生工程フロー]



添付資料 管理体制図及び各部署の役割

[管理体制図]



—————→ 報 告

- - - - -→ 指 示

←—————→ 相互連絡

- . - . - . - . - 指 示

[各部署の役割]

部 署	役 割
<p>A 統括部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・処理施設（事業場内・外）の定期的査察 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票（マニフェスト）等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・各部署間の調整及び指示 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画
<p>B 現場直属部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・各現場の施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 ・最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 ・上記内容をA に報告
<p>C 技術研究部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程の研究開発 ・産業廃棄物処理技術の研究開発 ・産業廃棄物減量化手法の調査研究 ・上記内容をA に報告
<p>D 経理部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・委託料金の支払方法による業者管理 ・上記内容をA に報告